

就労支援部会 報告書

会議名	第2回 就労支援部会		
開催日時	令和5年12月4日(月) 10時00分～12時00分		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室 B		
出席者数	10名	傍聴者数	0名

報告事項(1件)

議題名	障害者総合支援法改正に伴う就労支援施策の進捗状況について
概要	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)が一部改正されたことに伴い、第1回就労支援部会後に公表された就労に関する内容について報告。</p> <p>公表されている就労に関する内容は以下のとおり。</p> <p>(1)就労アセスメントの手法を活用した支援の制度化等</p> <p>(2)短時間労働者(週所定労働時間10時間以上20時間未満)に対する実雇用率算定等</p> <p>(3)障害者雇用調整金等の見直しと助成措置の強化</p> <p>以上3点の改正内容のうち、(2)(3)は令和4年度第2回就労支援部会で報告以降、進展が無いいため、(1)の進捗状況について報告。</p>
主な意見・質問	<p><補足></p> <ul style="list-style-type: none"> 就労アセスメントは、現在就労移行支援事業所により実施され、面談や作業観察などを通じて、就労継続支援B型事業所利用希望者の作業能力や集中力、就労意欲などを把握することを目的として行うもの。 <p><意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在区では、就労アセスメントに関して、就労継続支援B型事業所内で体験実習を通じた就労アセスメントを行っていると思うが、法改正後は、就労選択支援事業所が就労アセスメントを行うことになる点で、障がい者本人にとっては今まで自分が関わっていた事業所とは違う事業所での就労アセスメントを受けることになるので、非常に使いづらくなると思う。 特別支援学校在学者に対して企業就職に向けた、学年別の年間スケジュールが公表されているが、そのスケジュール通りには進まないと思う。実際に生徒が職場実習などで就職活動をしてみると、就職活動の波に乗れない生徒がいるので、スケジュールを決めてしまうと企業や事業所に迷惑がかかってしまうと思う。 板橋区では、就労アセスメントシートが統一されているが、他の区では統一されていない区もある。今回の法改正では、就労選択支援事業所を創設することで、アセスメントシート等の統一されていない部分を整理するという目的もあるかもしれないが、板橋区のようにある程度整理されている区でも、これまでの取り組み方を考え直す必要があると思う。 就労選択支援事業所の創設等に関する内容が整理されているが、これまで区でやってきた就労アセスメントの運用の仕方をどれだけ活かせるかの視点が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・就労選択支援事業所の創設という、新しいことをやらなければいけないというような気になるが、今ある事業所が兼務で就労選択支援事業所としても活動できるようにするなど、いろいろなやり方があると思うので、これから板橋区としてどうしていくかが大事だと思う。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の法改正について、引き続き国の動向を注視しながら、進捗状況について当部会で共有していく。

協議事項（1件）

議題名	障がい者就労における一般就労の定着等に向けた支援策について
概要	<p>障がい者が、区内企業で安定した職場定着が図れるよう、就労体験の場の提供や一般就労後の支援策について検討するため、以下3点の取組を紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)障がい者雇用に関わる企業向け講演会等の実施（一例） (2)就労定着に向けた支援(川崎市) (3)就労に向けた体験の場の提供(区の実施事業の活用)
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> (1)について <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用に力を入れている企業にセミナーを実施してもらうのは、今後考えていくべきだと思う。 (2)について <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の就労定着支援について紹介があったが、どういった運営をして、企業と関わっているのか。 →川崎市は企業相談支援センターという、企業に対して障がい者雇用についての相談等の窓口を設けている。そこで企業で障がい者雇用・定着に向けて何をすべきかということに重きを置いて「K-STEPプロジェクト」などに取り組み、働く障がい者や障がい者を雇用する企業への支援に取り組んでいる。 ・企業への支援で窓口があることはとても大事なことだと思う。板橋区も中小企業が多いので、障がい者雇用についての企業の窓口が今後必要になってくると思う。 ・川崎市の「K-STEPプロジェクト」のような定着支援の取組は、就労前の時期から行っていき、支援者が障がい者を理解していくべきだと思う。 ・「K-STEPプロジェクト」の取組は、私たちの事業所(区内就労移行支援事業所)で参考としており、就労前から行っているが、障がい者本人が自分の体調の傾向を知ることができ、自分がどこに配慮を求めたいのかも知ることができているので、とてもいい取組になっている。 (3)については意見なし
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今回協議した内容を参考にし、障がい者が、区内企業で安定した職場定着が図れるよう就労体験の場の提供や一般就労後の支援策について検討していく。 ・就労移行支援事業所を通じて、区内企業に対し「K-STEPプロジェクト」の取組を周知し、就労定着の一助としてもらう。